

2007年 全国納豆協同組合連合会

第三回「納豆研究奨励金」

全国納豆協同組合連合会(以下:全納連)では、納豆に関する研究に携わっておられる学生、研究者の方を対象に、納豆の消費拡大への寄与が期待できる調査・研究に対し、研究奨励金を支給いたします。採用された研究は全納連で発表・公表を支援いたします。

【1】対象領域

① 自然科学系 (生物、化学、医学、農学、栄養学等)

納豆と健康増進に関する研究

納豆に含まれる成分の機能性に関する研究など納豆の食し方、利用法などに関する研究など

納豆の製造に関する研究

納豆の製法、納豆菌、納豆の品質に関する研究

② 人文・社会科学系

納豆のマーケティングおよび食文化に関する調査・研究

納豆の利用実態調査、消費者意識調査など
納豆の歴史、地域性に関する研究など

【2】応募資格

- 短大、大学、大学院、専門学校、その他教育機関等において研究活動に従事している者(学生、院生も可)
- 研究機関、試験所、医療機関等において研究活動に従事している者 ※年齢制限はありません。

【3】奨励金額

- 1件30万円×3件

【4】応募方法

- 研究内容は申請者が主体となって行なう研究で、単年度(2007年4月～2008年3月)内に研究が完了し、成果をまとめられるものを原則とします。
- 全国納豆協同組合連合会公式サイトより申し込み書をダウンロードして下さい。(http://www.710.or.jp)

【5】募集期間、選考方法、採否の通知

- 募集期間 2006年8月1日から2006年10月31日まで
- 選考方法 全納連の研究委員会において選考します。
- 選考委員
倉敷芸術科学大学教授 須見洋行
全納連 研究委員長 伊藤孝
全納連 PR委員長 野呂剛弘
- 採否の通知 採否は2006年3月末頃に応募者全員に直接通知します。また、入選者は、氏名、所属、研究件名を全納連のホームページに掲載させていただきます。

【6】奨励金の交付

- 奨励金の交付は、申請者本人名義宛てで、2007年3月頃にお送りします。奨励金の用途については報告の義務はありません。



【7】研究結果の権利と結果の活用

- 研究結果は、論文またはレポートとして全納連へ報告していただきます。
- 研究結果に関する権利・著作権は、奨励金受給者に帰属しますが、全納連が納豆の消費拡大のためにこの研究結果を活用させていただくことがあることを、了承願います。
- 研究結果は、全納連が主催するセミナーなどで発表を依頼する場合、および全納連を通じてマスコミ等で一般に公表させていただく場合があります。(この場合、交通費等の経費は別途支給いたします)